

平成26年度 焼却施設の維持管理に関する記録

クリーンセンターまにわ

1 処分した一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量

種類		可燃ごみ(家庭系一般廃棄物及び事業系一般廃棄物、不燃ごみ破砕処理残渣)													
区分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	
1号炉	焼却量	t	102.8	150.9	241.2	184.0	210.0	306.5	198.5	322.1	317.9	80.9	64.5	246.3	2,425.5
2号炉	焼却量	t	289.0	222.7	143.7	252.2	143.7	107.7	256.9	74.3	90.3	306.2	276.6	74.5	2,237.6
合計焼却量		t	391.8	373.6	384.9	436.2	353.7	414.2	455.3	396.4	408.1	387.1	341.1	320.8	4,663.1

2 燃焼室中の燃焼ガスの温度、集塵機に流入する燃焼ガスの温度、煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度

区分	単位	管理基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	
燃焼室中燃焼ガス温度*1	1号炉	°C	800°C以上	944	948	957	931	962	952	960	973	974	955	971	976	958.5
	2号炉	°C	800°C以上	969	939	983	922	957	937	956	969	962	954	974	982	958.7
集塵機流入燃焼ガス温度*2	1号炉	°C	200°C以下	174	170	167	167	169	174	176	180	183	182	184	183	175.7
	2号炉	°C	200°C以下	179	171	168	166	169	173	175	180	183	183	183	184	176.1
排ガス中一酸化炭素濃度*3	1号炉	ppm	30ppm以下	4	3	2	1	1	1	1	2	1	2	2	1.9	
	2号炉	ppm	30ppm以下	4	6	2	1	0	1	2	1	3	2	2	2.1	
備考		測定結果数値は毎日の連続測定、記録による全ての日平均値の月平均値														

測定位置：*1燃焼室出口 *2集塵機入口 *3集塵機出口 別紙「クリーンセンターまにわ焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

ppm(パーツ・パー・ミリオン)は、100万分のいくらかであるかという割合を示す単位。主に濃度を表すために用いられる。「parts per million」の頭文字をとったもので、100万分の1の意。

3 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばい塵の除去を行った年月日

区分	1号炉	2号炉
冷却設備(ガス冷却室)	平成27年1月13日	平成26年12月3日
排ガス処理設備(集塵機)	平成26年10月8日	平成26年9月19日

4 排ガス中のダイオキシン類の濃度(1回/年以上測定)

区分	法定基準値	管理基準値	単位	1号炉	2号炉
排ガスの採取年月日	/	/	/	平成26年7月31日	平成26年8月1日
結果の得られた年月日	/	/	/	平成26年9月16日	平成26年9月16日
ダイオキシン類濃度	5	0.1	ng-TEQ/m ³ N	0.00087	0.0045

採取位置：集塵機出口 別紙「クリーンセンターまにわ焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

1ng(ナノグラム)…10億分の1グラム

TEQ…ダイオキシン類の量を、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾパラジオキシン類の毒性等量に換算した量として表した符号

m³N(立方メートルノルマル)…気温0°C、気圧が1気圧の状態での換算した気体の体積

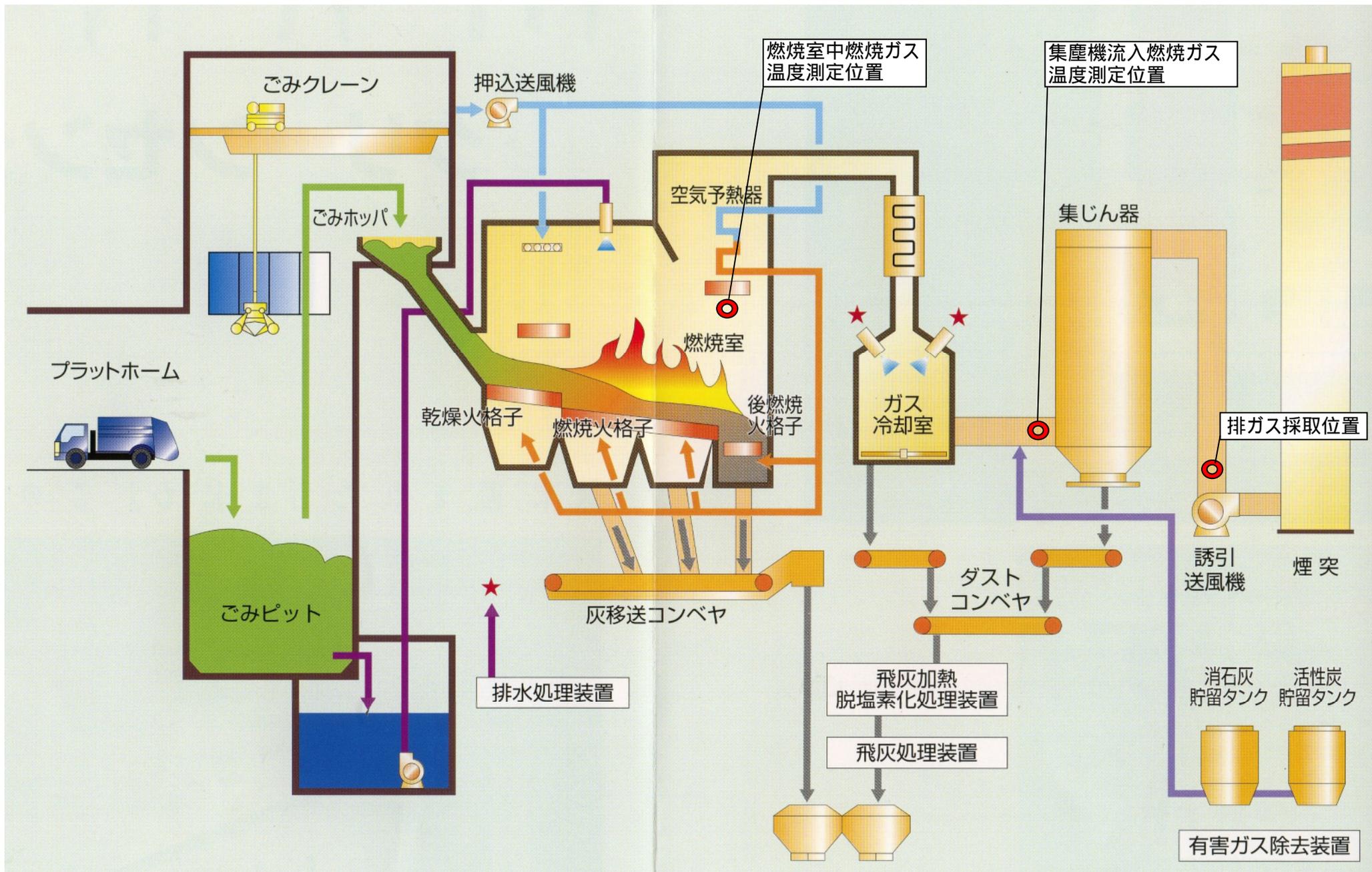
5 ばい煙量又はばい煙濃度(1回/6ヶ月以上測定)

区分	法定基準値	管理基準値	単位	1号炉		2号炉	
				1回目	2回目	1回目	2回目
排ガスの採取年月日	/	/	/	平成26年7月10日	平成27年1月8日	平成26年7月10日	平成27年1月8日
結果の得られた年月日	/	/	/	平成26年7月18日	平成27年1月23日	平成26年7月18日	平成27年1月23日
ばい煙濃度	0.15	0.01	g/m ³ N	0.002	0.002未満	0.002未満	0.002未満
硫黄酸化物の量	K値17.5	50※	ppm	0.7未満	0.81	0.7未満	0.88
窒素酸化物濃度	—	150	ppm	79	52	81	79
塩化水素濃度	700	100	mg/m ³ N	1	4.8	0.9	11.0

採取位置：集塵機出口 別紙「クリーンセンターまにわ焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

※硫黄酸化物の基準値は、K値規制(地域規制)が総量規制のため、排出ガス温度、排出ガス量及び排出ガス流速により変化するため、管理基準値にはppm(濃度)を用いる。

クリーンセンターまにわ焼却施設維持管理状況測定場所



平成26年度 焼却施設の維持管理に関する記録

真庭北部クリーンセンター

1 処分した一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量

種類		可燃ごみ(家庭系一般廃棄物及び事業系一般廃棄物)													
区分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	
1号炉	焼却量 t	93.1	129.0	72.3	109.2	121.2	129.1	60.0	83.4	115.5	108.4	48.7	65.3	1,135.2	
2号炉	焼却量 t	122.5	88.8	136.3	132.0	122.7	66.1	115.2	59.0	93.1	73.9	72.5	61.7	1,143.8	
合計	焼却量 t	215.6	217.8	208.6	241.2	243.9	195.2	175.2	142.4	208.6	182.3	121.2	127.0	2,279.0	

2 燃焼室中の燃焼ガスの温度、集塵機に流入する燃焼ガスの温度、煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度

区分	単位	管理基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値
燃焼室中燃焼ガス温度*1	1号炉 °C	800°C以上	889	899	903	879	884	890	900	895	876	882	905	915	893.1
	2号炉 °C		897	899	893	882	887	873	918	925	882	886	905	918	897.1
集塵機流入燃焼ガス温度*2	1号炉 °C	200°C以下	180	180	180	180	180	180	180	180	178	180	180	180	179.8
	2号炉 °C		180	180	180	180	180	180	180	180	180	180	181	182	180.3
排ガス中一酸化炭素濃度*3	1号炉 ppm	30ppm以下	5	4	3	3	2	2	2	4	5	5	5	5	3.8
	2号炉 ppm		2	2	2	1	2	4	3	3	4	5	4	3	2.9
備考		測定結果数値は毎日の連続測定、記録による全ての日平均値の月平均値													

測定位置：*1燃焼室出口 *2集塵機入口 *3集塵機出口

【用語解説】

ppm(パーツ・パー・ミリオン)は、100万分のいくらかであるかという割合を示す単位。主に濃度を表すために用いられる。「parts per million」の頭文字をとったもので、100万分の1の意。

3 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばい塵の除去を行った年月日

区分	1号炉	2号炉
冷却設備(ガス冷却室)	平成26年7月7日	平成26年7月7日
排ガス処理設備(集塵機)	平成26年7月8日	平成26年7月8日

4 排ガス中のダイオキシン類の濃度(1回/年以上測定)

区分	法定基準値	単位	1号炉	2号炉
排ガスの採取年月日	/	/	平成26年9月12日	平成26年9月12日
結果の得られた年月日	/	/	平成26年10月27日	平成26年10月27日
ダイオキシン類濃度	10	ng-TEQ/m ³ N	0.0086	0.047

採取位置：集塵機出口

【用語解説】

1ng(ナノグラム)…10億分の1グラム

TEQ…ダイオキシン類の量を、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾパラジオキシン類の毒性等量に換算した量として表した符号m³N(立方メートルノルマル)…気温0°C、気圧が1気圧の状態での換算した気体の体積

5 ばい煙量又はばい煙濃度(1回/6ヶ月以上測定)

区分	法定基準値	単位	1号炉		2号炉	
			1回目	2回目	1回目	2回目
排ガスの採取年月日	/	/	平成26年5月2日	平成26年12月18日	平成26年5月2日	平成26年12月18日
結果の得られた年月日	/	/	平成26年5月21日	平成27年1月6日	平成26年5月21日	平成27年1月6日
ばい煙濃度	0.25	g/m ³ N	0.002	0.003	0.002	0.001
硫黄酸化物の量	K値17.5	m ³ N/h	0.110	0.140	0.026	0.046
窒素酸化物濃度	250	ppm	110	85	91	130
塩化水素濃度	700	mg/m ³ N	69	14	9	17

採取位置：集塵機出口

平成26年度 焼却施設の維持管理に関する記録

コスモスクリーンセンター

1 処分した一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量

種類		可燃ごみ(家庭系一般廃棄物及び事業系一般廃棄物、不燃ごみ破碎処理残渣)												
区分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
1号炉	焼却量 t	213.8	182.4	217.6	217.2	182.2	198.0	139.3	160.3	221.1	195.2	173.2	175.3	2,275.6
2号炉	焼却量 t	190.0	224.6	169.7	212.5	223.4	239.8	268.7	201.4	220.8	222.3	169.9	236.8	2,579.9
合計焼却量		t	403.8	407.0	387.3	429.7	405.6	437.8	408.0	361.7	441.9	417.5	343.1	4,855.5

2 燃焼室中の燃焼ガスの温度、集塵機に流入する燃焼ガスの温度、煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度

区分	単位	管理基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	
燃焼室中燃焼ガス温度*1	1号炉	°C	800°C	945	944	941	937	928	935	929	927	927	929	924	936	933.5
	2号炉	°C	以上	924	945	932	923	898	926	927	921	932	933	929	933	926.9
集塵機流入燃焼ガス温度*2	1号炉	°C	200°C	189	189	189	189	189	190	190	189	189	190	189	189	189.3
	2号炉	°C	以下	188	190	190	190	189	190	190	189	190	189	189	189	189.4
2	1号炉	ppm	100ppm以下	28.7	27.2	29.1	31.7	38.2	15.9	17.2	21.7	34.3	22.9	21.1	20.1	25.7
	2号炉	ppm		23.9	24.1	25.0	29.0	37.1	15.4	14.2	18.2	32.8	21.2	17.5	14.3	22.7
備考		測定結果数値は毎日の連続測定、記録による全ての日平均値の月平均値														

測定位置：*1燃焼室出口 *2集塵機入口 *3集塵機出口 別紙「コスモスクリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

ppm(パーツ・パー・ミリオン)は、100万分のいくらかであるかという割合を示す単位。主に濃度を表すために用いられる。「parts per million」の頭文字をとったもので、100万分の1の意。

3 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばい塵の除去を行った年月日

区分	1号炉	2号炉
冷却設備(ガス冷却室)	平成26年6月実施	平成26年6月実施
排ガス処理設備(集塵機)	平成26年6月実施	平成26年6月実施

区分	法定基準値	管理基準値	単位	1号炉	2号炉
排ガスの採取年月日	/	/	/	平成26年7月17日	平成26年9月11日
結果の得られた年月日	/	/	/	平成26年9月3日	平成26年10月16日
ダイオキシン類濃度	10	5	ng-TEQ/m ³ N	0.48	0.17

採取位置：集塵機出口 別紙「コスモスクリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

1ng(ナノグラム)…10億分の1グラム

TEQ…ダイオキシン類の量を、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾパラジオキシン類の毒性等量に換算した量として表した符号

m³N(立方メートルノルマル)…気温0°C、気圧が1気圧の状態での換算した気体の体積

5 ばい煙量又はばい煙濃度(1回/6ヶ月以上測定)

区分	法定基準値	管理基準値	単位	1号炉		2号炉	
				1回目	2回目	1回目	2回目
排ガスの採取年月日	/	/	/	平成26年5月12日	平成26年11月5日	平成26年5月12日	平成26年11月5日
結果の得られた年月日	/	/	/	平成26年5月20日	平成26年11月10日	平成26年5月20日	平成26年11月10日
ばい煙濃度	0.15	0.02	g/m ³ N	0.008	0.002	0.008	0.002
硫酸化物の量	K値17.5	50※	ppm	19	19	19	19
窒素酸化物濃度	250	200	ppm	49	35	49	35
塩化水素濃度	700	100	mg/m ³ N	77	77	77	77

採取位置：集塵機出口 別紙「コスモスクリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

※硫酸化物の基準値は、K値規制(地域規制)が総量規制のため、排出ガス温度、排出ガス量及び排出ガス流速により変化するため、管理基準値にはppm(濃度)を用いる。

コスモクリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所

中央制御室



ワンルームコントロール方式で施設管理はもろろん、設備の監視、運転、操作を行います。

クレーン操作室



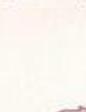
フラットホーム
出入口扉はエアカーテンと密封し、投入扉はクレーン操作室からの指示によるインターロック稼働。



燃焼室中燃焼ガス温度測定位置



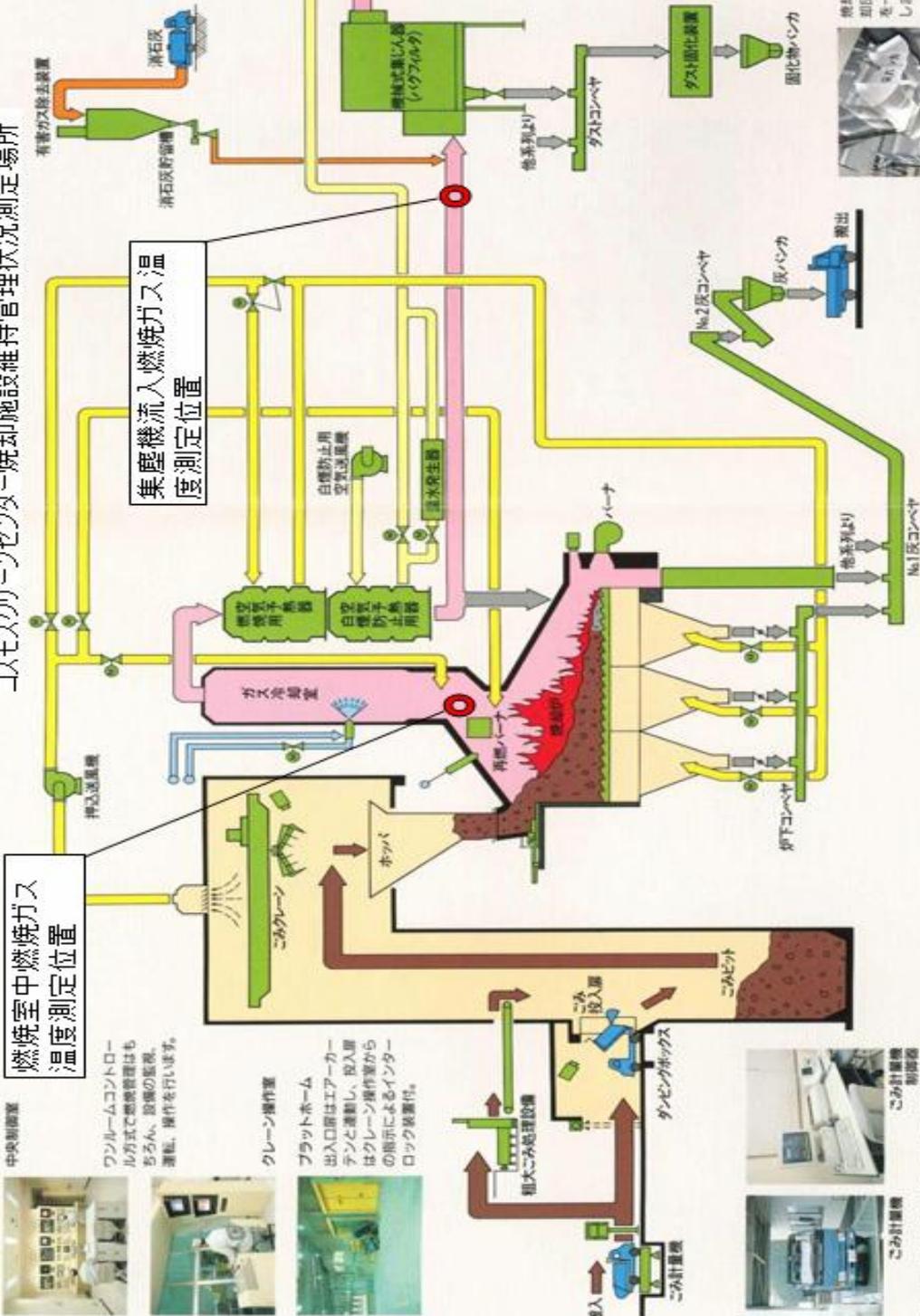
集塵機流入燃焼ガス温度測定位置



排ガス採取位置



鋼板製（コンクリート外装型）で周囲環境に調和した美観を考慮しています。



収量計で収量されたごみは、ごみ計量機で投入量が自動的に計量され記録及び記憶されます。

焼却炉から発生した焼却灰及びタスト、塵化物を一時的貯留後渣倉運出します。



灰バンカ・塵化物バンカ



排ガス監視機
排ガスから排出される排ガスに含まれるSOx、NOx、HClの濃度を表示します。